

一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

平成30年

6月定例会終わる

6月5日から15日までの11日間で開催

男女共同参画社会基本法に基づき、本町の基本的施策を定めるために、「飯南町男女共同参画推進条例」を制定した。

定例議会終了後、二輪草の会の皆さんによる啓発劇を鑑賞し、慣習の中に性別による差別があることなどを学んだ。

平成29年度は、補正予算編成のたびに社会資本整備総合交付金の減額があり、当初予定されていた重要な事業が実施できず、大変残念であった。今回、2196万円の追加交付の内示を受け、

昨年度実施できなかった事業を予算化した。

遅れていた土木事業の進捗が図られ、住民の皆さんの利便性が向上することを期待する。

可決された主な議案

■条例関係

飯南町男女共同参画推進条例の制定など4件

■承認

飯南町税条例等の改正など9件

Q住民に寄り添う地震対策を

夜中の地震であったが、発生後直ちに余震への注意喚起、被害状況を知らせたい旨の放送はなかった。被災したかどうかかわからないかもしれないが、住民は不安にさいなまれていた。もっと早い対応が求められる。発生直後に、安心させる、励ます行動が求められる。

震度4を観測したが、角井地区での震度が5未満だったか疑問がある。震度計を増設すべきではないか。支援のあり方について、5点提案する。

①高齢者世帯の被災状況の把握を、聞き取りも含め詳細に実施。
②町が行う支援制度は、訪問するなどのきめ細やかな配慮を。
③状況によっては、復旧や片付けなどへの支援を検討。
④支援が不十分などところへの追加支援。
⑤被災証明や罹災証明の発行は、窓口に向かなくてもできるように。



八神地区の法面崩落現場

Aきちんと対応

町長 山崎英樹

告知放送は、時間を問わず行う。周囲から見える活動をして励ましていく。地震計の増設は考えておらず、推計震度分布図を活用する。

高齢者への対応は、しっかりとやっていく。県で災害支援基金の話もある。追加支援は、色々なケースがあり、今後の課題とする。現地調査を行った世帯を二戸二戸訪問して説明している。留守宅への対応もきちんとしている。

■予算

平成30年度飯南町一般会計補正予算第2号など7件

■諸議案

飯南町防災行政無線整備工事請負契約の締結など3件

■報告

議会の委任による専決処分報告2件



二輪草の会の皆さんによる啓発劇

Qトイレ改修と公衆トイレの設置

先日、赤名環境改善センターで食生活改善推進協議会の島根県総会が開催された。男子トイレを女子用として提供、仮設トイレの設置など努力はあったが混雑した。トイレの数が不足しており、増設が必要だ。「みせん」も同様である。

両施設ともに、洋式トイレの設置はあるものの、数が足りていない。洋式への取り替えとともに、多目的トイレの設置を提案する。

また、連たん地に公衆トイレがないので、設置を求める。



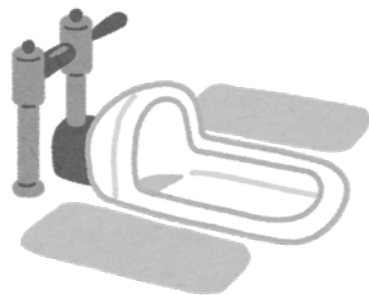
赤名農業改善センターのトイレ

Aいずれも今後の課題

町長 山崎英樹

トイレの心配はしていた。大勢が一度に使用するので、ある程度の混雑はやむを得ない。質問の意図は理解するが、すぐに増設することはできないので、今後の課題とする。洋式化への移行も将来の検討課題とする。

公衆トイレの政策優先度は低い。夜間使用はできないが、既存の公共施設のトイレを使って欲しい。



【平成30年度 一般会計補正予算 1億5221万円増額】

島根県西部地震災害対策費798万円の増額、社会資本整備交付金1億4039万円の増額、農作物鳥獣被害防止事業384万円の増額など

各会計		補正予算額	予算総額
一般会計		1億5221万円	81億668万円
特別会計	国民健康保険事業	15万円	6億6515万円
	簡易水道事業	368万円	4億3957万円
	下水道事業	368万円	4億103万円
	介護保険サービス事業	30万円	3350万円
病院事業		2011万円	12億7116万円